

## 新約聖書の中の奥義 第16回

## □この学び全体のアウトライン

第一部 イン트로ダクション

第二部 奥義としての神の国

第三部 教会に関する5つの奥義

第四部 イスラエルが頑なになることに関連する奥義

第五部 サタンの2つの奥義 と それを打ち破る神の8番目の奥義

## □第四部「イスラエルが頑なになることに関連する奥義」のアウトライン

## A) ロマ9章・10章・11章の教え

I. イスラエル民族がメシアを拒否したことについての神学的理解 9:1~29

II. イスラエル民族がメシアを拒否したことの説明 9:30~10:21

III. イスラエル民族がメシアを拒否したことの慰め 11:1~32

1. イスラエル民族全員がメシアを拒否したわけではない(1~10節)

2. イスラエルが躓いたことの目的(11~15節)

3. オリーブの木(16~24節)

4. 奥義(25~32節)

(1) 奥義の内容(25節)

(2) 将来のイスラエルの民族的救い(26~27節)

(3) イスラエルの現在の立場(28~29節)

(4) 異邦人を呼び出すこととイスラエルの民族的救いとの関係(30~32節)

IV. パウロの頌栄 11:33~36

## B) ロマ16:25~27の教え

A-III-4. 奥義(ロマ11:25~32)

(3) イスラエルの現在の立場(28~29節) 彼らは、福音に関して言えば、あなたがたのゆえに、神に敵対している者ですが、選びに関して言えば、父祖たちのゆえに、神に愛されている者です。神の賜物と召命は、取り消されることがないからです。

① 「あなたがたのゆえに」=異邦人のために

② 「福音に関して言えば、神に敵対している者」・・・イスラエルは、異邦人に救いをもたらされるために、福音の敵となっている

③ 「選びに関して言えば」・・・イスラエルは神に選ばれた民であるという点では

④ 「父祖たちのゆえに」=アブラハム、イサク、ヤコブの族長たち並びにアブラハム

契約のゆえに

- ⑤ 「神に愛されている者です」＝イスラエルの選びと契約上の約束のゆえに、将来のいつの日か、必ず、イスラエルは民族として救われる。
- ⑥ その基盤は、取り消さることのない「神の賜物と召命」である。「召命」とは、神がイスラエルを神の民として選んだということである。「賜物」とは、契約上の約束である。その約束の一つは、イスラエルの民族的救いである。

#### (4) 異邦人を呼び出すこととイスラエルの民族的救いとの関係 (30～32 節)

- ① 30 節 あなたがたは、かつては神に不従順でしたが、今は彼らの不従順のゆえに、あわれみを受けています。
  - 異邦人を救いに呼び出すこととイスラエルの民族的救いというのは、神の計画において不可分の関係にある。
  - イスラエルの不信仰のゆえに、神は異邦人に対してあわれみを示す機会を得た。
  - 過去において異邦人は不従順であったが、今やイスラエルの不従順ゆえに神からあわれみを受けた。
- ② 31 節 それと同じように、彼らも今は、あなたがたの受けたあわれみのゆえに不従順になっていますが、それは彼ら自身も今あわれみを受けるためです。
  - イスラエルは、今は、不従順の中にいる。それによって、神のあわれみを異邦人が受けている。
  - しかし、イスラエルも、今、同じようにあわれみを受けることができる。
  - 【補足】それは異邦人を見てねたみを感じることによって、イエスをメシアとして認めるに至るからである。
- ③ 32 節 神は、すべての人を不従順のうちに閉じ込めましたが、それはすべての人をあわれむためだったのです。
  - 異邦人は過去において、イスラエルは今、不従順の中にある。これは神が「閉じ込めた」、すなわち神の計画において許されたことである。
  - それは、「すべての人を」、すなわちイスラエルにも異邦人にも、神があわれみを与えるためであった。

#### IV パウロの頌栄 11 : 33～36

ああ、神の知恵と知識の富は、なんと深いことでしょう。

神のさばきはなんと知り尽くしがたく、

神の道はなんと極めがたいことでしょう。

「だれが主の心を知っているのですか。

だれが主の助言者になったのですか。

だれがまず主に与え、主から報いを受けるのですか。」

すべてのものが神から発し、神によって成り、神に至るのです。

この神に、栄光がとこしえにありますように。 アーメン。

B) ロマ 16:25~27 の教え

## 1. 霊的成長の基礎 (25~26 節)

(1) 25~26 節 私の福音、すなわち、イエス・キリストを伝える宣教によって、また、世々にわたって隠された奥義の啓示によって——— 永遠の神の命令にしたがい、預言者たちの書を通して今や明らかにされ、すべての異邦人に信仰の従順をもたらすために知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを強くすることができる方、

① この箇所を中心は、下線部「あなたがたを強くする」=霊的成長

② 霊的に成長し、強くなるための3つの方法 (二重下線部)

- 私の福音によって・・・パウロの福音とは、霊的成長の福音である。その良き知らせの内容は、パウロに啓示された奥義である
- イエス・キリストを伝える宣教によって・・・これは、救いの福音である。福音の3要素 (I コリ 15:3~4)
- 世々にわたって隠された奥義の啓示によって・・・ロマ 11:25 で語られた奥義を指す。旧約時代にはずっと啓示されずにきた。

③ 26 節は、奥義について、さらに述べる (波線部)

- その奥義は、「今や明らかにされた」
- 「預言者たちの書とおして」・・・新約時代の使徒たちと新約時代の預言者たちを通して、という意味。旧約時代の預言書ではない。
- 「永遠の神の命令にしたがい」・・・パウロが神から啓示された奥義を人々に伝え、明らかにするのは、神の命令によることであった。

## 2. 結びの祈り (27 節)

27 節 知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、栄光がとこしえまでありますように。アーメン。

- ① 私たちの信仰の対象は、知恵に富む唯一の神である。
- ② 私たちは、イエス・キリストを通して、この神を信じる。
- ③ この神に栄光がとこしえまでありますように。アーメン。

□ 第五部「サタンの2つの奥義 と それを打ち破る神の8番目の奥義」アウトライン

C) サタンの奥義の第一 バビロンの奥義 黙 17:1~18

D) サタンの奥義の第二 不法と不法の人の奥義 IIテサ 2:1~12

E) 神の8番目の奥義 サタンの奥義を打ち破ること

F) 総括：終わった

→ 本日は、黙示録の構成を学ぶ